

鳥浜貝塚 発見60周年 記念特別展

【重要文化財】
〈鳥浜貝塚〉
リョウメンシダの3本組縄(縄文時代前期)



【重要文化財】
〈鳥浜貝塚〉漆塗土器片
(縄文時代前期)



【重要文化財】
〈鳥浜貝塚〉
クマノミズキ類の柄
(縄文時代前期)



【重要文化財】
〈鳥浜貝塚〉
クリの筒形三足器
(縄文時代前期)



【重要文化財】
〈鳥浜貝塚〉
斜格子沈線土器
(縄文時代草創期)



人と植物の歴史の始まり

縄文 森と出会った

2021
10
16
土
↓
11
28
日

● 休館日 10/25月・11/8月・22月



〈東名遺跡〉
復元した編みかご・ムクロー、
あみもの研究会製作
佐賀市教育委員会所蔵

【重要文化財】
〈鳥浜貝塚〉
局部磨製石斧
(縄文時代草創期)



【重要文化財】
〈鳥浜貝塚〉
赤色漆塗櫛
(縄文時代前期)



会場

福井県立若狭歴史博物館

【開館時間】 9時～17時(入館は16時30分まで)

【料金】 一般500円(400円)、高校生300円(240円)

小・中学生100円(80円)

※()は20名以上の団体料金 ※障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名半額

【主催】 福井県立若狭歴史博物館

【後援】 福井新聞社、FBC、福井テレビ、FM福井、RCN、チャンネルO、MMネット

【協力】 あみもの研究会、国立文化財機構奈良文化財研究所企画調整部国際遺跡研究室

佐賀市教育委員会、東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻ゲノム人類学研究室

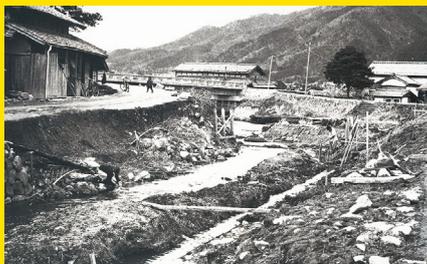
福井県立三方青年の家、御食国若狭おばま食文化館、若狭三方縄文博物館(五十音順)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、記載内容を変更する場合があります。
またご来館の際は、マスク着用および手指消毒など感染防止にご協力ください。



福井県立
若狭歴史博物館

〒917-0241 福井県小浜市遠敷2丁目104番地
TEL/0770-56-0525 FAX/0770-56-4510



護岸復旧工事中の高瀬川 1962年2月

地下深くに眠っていた鳥浜貝塚(若狭町鳥浜所在)は、1961年、^{はす}鱒川・高瀬川の護岸工事の際に、地元の郷土史家によって発見されました。

鳥浜の地に遺跡が形成されたのは、今から約13000年前から約5600年前まで、寒冷な氷期から温暖な後氷期へと気候が大きく切り替わる時期でした。自然環境が激変するなか、人々はどんな植物をどのように利用したのでしょうか。今回の特別展では、近年、取り組まれた鳥浜貝塚の植物利用に関わる研究の成果を初公開するとともに、縄文時代前半期の植物利用の変遷に目を向けてみます。

関連イベント
申込受付開始 9/2

●記念講演会 I
「トリハマ人はスーパーナチュラル리스트!」

講師 / 鈴木三男氏(東北大学 名誉教授)
日時 / 令和3年10月30日(土) 13:30~15:00
会場 / 福井県立若狭歴史博物館 定員 / 50名(要申込・先着順・要観覧券)

●記念講演会 II
「対馬暖流ベルト地帯と縄文農耕関連具の出現」

講師 / 幸泉満夫氏(愛媛大学 准教授)
日時 / 令和3年11月13日(土) 13:30~15:00
会場 / 福井県立若狭歴史博物館 定員 / 50名(要申込・先着順・要観覧券)
※記念講演会IIは2019~2023年度JSPS科学研究費補助金「対馬暖流ベルト地帯周辺における縄文農耕の実証化に向けた関連石器類の広域基盤研究」(基盤研究C 課題番号 19K01097)の支援を受けています。

●当館文化財調査員による展示解説

日時 / 令和3年10月24日(日)、11月7日(日)・21日(日) 14:00~
会場 / 福井県立若狭歴史博物館 企画展示室

●ヒストリーミュージアムコンサート

「縄文の音 時を超えて ~フルート・オカリナ&太鼓~」
出演者 / 浅川由美氏(フルート・オカリナ)、北山和也氏(太鼓)
日時 / 令和3年11月6日(土) ①11:00~11:45 ②14:00~14:45
会場 / 福井県立若狭歴史博物館 講堂 定員 / 各回30名(要申込・先着順・要観覧券)

申込・問合せ先 / 福井県立若狭歴史博物館 TEL 0770-56-0525

◆コラボ企画 I

福井県立若狭歴史博物館・福井県立三方青年の家・若狭三方縄文博物館
3施設連携 特別展プレイベント「縄文土器でスプーンをつくろう!」
日時 / 令和3年9月19日(日) 9:00~12:00
会場 / 福井県立三方青年の家 定員 / 6家族(申込受付開始9/2・先着順)
参加費 / 1家族1,000円(5名以上は1名増えるごとに保険料50円を追加徴収)
申込・問合せ先 / 福井県立三方青年の家 TEL 0770-45-0229

◆コラボ企画 II

福井県立若狭歴史博物館・御食国若狭おばま食文化館連携
縄文時代の食材をテーマにした料理教室
日時 / 令和3年10月17日(日) ※詳細はお問合せください。
会場 / 御食国若狭おばま食文化館 定員 / 16名(要申込)
参加費 / 1,000円
申込・問合せ先 / 御食国若狭おばま食文化館 TEL 0770-53-1000



縄文編みかごの復元
解明された編組技術

東名遺跡(佐賀県)の編みかごを復元したムクロー、登場! あみもの研究会が遺跡出土の編みかごを復元実験して分かった縄文時代の編み・組む技術を紹介します。

森林資源の利用の始まり
縄文時代草創期の鳥浜貝塚

鳥浜貝塚での最初の道具ははすだらけの土器と、スギの板目板材でした。そこから始まる木材加工の変遷を追います。



木の実の貯蔵と
編組製品の素材選び
縄文時代早期の東名遺跡

国内最古級の湿地型貯蔵穴の実態が明らかに! 約8000年前、有明海に注ぐ河口付近に営まれた東名遺跡を盛大に紹介します。国内最古の編みかごも必見です!

東名遺跡 貯蔵穴内の複数の大型編みかご
縄文時代早期 佐賀市教育委員会所蔵



鳥浜貝塚 板目板材(スギ)
縄文時代草創期

木工技術の発展
縄文時代前期の鳥浜貝塚

縄文時代前期の約6500年前になると、木製道具の種類が多様化し、作りも精巧になります。鳥浜貝塚の優れた木工品を公開します。



いい仕事
してます!

【重要文化財】
鳥浜貝塚
高台付鉢(ケヤキ)
縄文時代前期

【重要文化財】鳥浜貝塚
装飾付板(ヒノキ) 縄文時代前期

縄文漆
トリハマ人の漆利用

日本列島には自生していなかったとされるウルシの木。漆文化とともに人によって列島に持ち込まれたと思いきや、鳥浜貝塚からそれより遥か昔のウルシの枝が見つかりました。その謎を整理します。

【重要文化財】鳥浜貝塚 漆塗木製品 縄文時代前期



縄紐類
トリハマ人の素材選び

「縄文人はなにで縄を作っていたのだろう?」その疑問にお答えします。繊維製品の実態調査で見えてきた鳥浜貝塚の素材事情は驚きの内容でした。

【重要文化財】
鳥浜貝塚 3本撚縄(マタタビ属)
縄文時代前期

分子レベルで探る
縄文人が煮たもの、
食べたもの

煮炊きによって土器に残った食物の脂質、糞石に残った動植物のDNA、そんな目に見えない小さなものからトリハマ人の食べ物を探る試みが行われています。



鳥浜貝塚
炭化鱈茎付着土器
縄文時代前期

※一部の文化財は会期中に展示替えをします。ご了承ください。



●JR小浜線 / 東小浜駅下車、東へ徒歩5分 ●車 / 舞鶴若狭自動車道・小浜ICより約5分



福井県立
若狭歴史博物館
Wakasa History Museum

〒917-0241 福井県小浜市遠敷2丁目104番地
TEL / 0770-56-0525 FAX / 0770-56-4510
https://wakahaku.pref.fukui.lg.jp
https://www.facebook.com/fukui.wakahaku

